

熊本県総合射撃場 業務報告書

(平成29年9月)

熊本県スポーツ振興事業団・ミズノグループ



平成29年度 熊本県総合射撃場 業務報告 目次

I	管理業務を行うに当たっての基本方針	1
II	管理運営状況	1～2
	1 利用者対応	
	2 利用者の増加を図るための具体的な取組	
	3 サービス向上を図るための具体的な取組	
III	維持管理状況	3～5
	1 施設・設備の維持管理	
	2 外構や植栽の維持管理	
	3 施設の衛生管理	
	4 安全管理	
	5 環境保全体制	
IV	自主事業状況	5
	1 KSPA・MIZUNOスポーツプログラム	
	2 その他の事業	
V	管理運営体制	6
	1 組織体制と人員配置	
	2 職員研修	
VI	緊急時対策体制	6～7
	1 事故発生時の対策・対応	
	2 火災・地震災害時の対策・対応	
	3 気象災害時の対策・対応	
	4 その他の対策	
	5 保険加入による補償体制	

【添付資料】

資料1 施設利用状況

資料2 職員による鉛回収状況

資料3 鉛及び調整池汚泥等の回収作業実績一覧表

I 管理業務を行うに当たっての基本方針

「本県における射撃競技の普及・振興の拠点」としての役割を担う熊本県総合射撃場の管理を、法令や関係条例を遵守し、利用者第一主義の原点に立ち、射撃場が持つ機能を最大限に発揮した管理運営を行う。

II 管理運営状況

1 利用者対応

(1) 施設利用状況

施設名	利用者数		施設利用料	
	9月期	前年度該当月	9月期	前年度該当月
熊本県総合射撃場	851人	175人	1,246,710円	840,060円
累 計	3,104人	435人	7,089,310円	1,486,240円

※詳細は別添資料のとおり。

※前年度との比較

前年度は、4月15日以降震災の影響で施設利用を休止しましたが、本年度は通常どおり供用を再開していること、また国体の強化合宿等での利用もあり利用者数、施設利用料共に増となっています。

(2) 利用者からの苦情、要望等とその対応状況

9月は、利用者からの苦情、要望等はありませんでした。

2 利用者の増加を図るための具体的な取組

(1) 利用者への情報提供

各情報は、ホームページ、パンフレット、リーフレットにより提供しています。

(2) 利用拡大のための取組内容

9月は、利用拡大のための取組はありませんでした。

(3) 地域、関係機関・ボランティア団体等との連携・協働

9月は、地域、関係機関・ボランティア団体等との連携・協働はありませんでした。

3 サービス向上を図るための具体的な取組

(1) サービス向上のための取組内容

①利用者主体のサービス環境づくり

大会名	実施内容	開催日
第12回九州猟友会安全射撃大会	スキート・トラップ射場クレール放出機セット、大会審判用机・旗・パラソルの設置、採点用紙及び選手名簿作成	9・10日
熊本市杯	スキート・トラップ射場クレール放出機セット、大会審判用机・旗・パラソルの設置、採点用紙及び選手名簿作成	24日

②利便性の向上

[様々なサービス提供]

内 容
・銃の手入れ用具の貸出 ・携帯電話充電器 ・コピーファックスサービス ・雨傘の無料貸出

③その他の取組

[地域への貢献]

実施日	場 所	内 容
14日	モニュメント	草刈り、集草
29日	公道	ゴミ拾い

Ⅲ 維持管理状況

1 施設・設備の維持管理

(1) 保守管理

[職員による日常点検一覧]

業 務 名	業 務 内 容	実 施 日
建物点検	目視点検	毎日
消防設備点検	目視点検	毎日
自動ドア点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	毎日
管理機械(芝刈機等)点検	動作確認、燃料・オイル点検他	毎日
空調設備点検	動作確認、機能・周辺設備点検調整	随時
放送設備点検	動作確認、機能・音量点検整備	随時

[委託による保守点検一覧(定期)]

業 務 名	業 務 内 容	実 施 回 数	実 施 日
			異常有・無
自家用電気工作物保安管理	漏電監視	毎日 24時間	毎日24時間
			異常無
消防設備点検	消火栓・火災報知機他、動作・機能点検	年2回	19日
			異常無
浄化槽保守点検	浄化槽の清掃	年1回	14日
			異常無
浄化槽保守点検	浄化槽の点検	毎月	29日
			異常無

(2) 修繕・改修

[自主修繕等一覧]

9月は、自主修繕はありませんでした。

[業者修繕等一覧]

9月は、業者修繕はありませんでした。

2 外構や植栽の維持管理

射撃場内の樹木、芝生地、法面を景観の維持と災害予防の視点で、適切な管理を行っています。

[業者委託]

場 所	実施内容	実施日
射撃場法面除草	射撃場の法面除草	19～23日

[職員作業]

場 所	実施内容	実施日
ゲート左右、調整池入口、 駐車場裏、管理棟横法面 煉瓦並木、S B射場平地、 ライフル棟前 スキートA B トラップB 林道入口	草刈り、集草	1～3・11・13・18・ 20・21・28～30日
スキートA	クレー回収	25日

3 施設の衛生管理

職員作業により、清潔で快適な空間の提供を行っています。

[職員による日常清掃内容]

頻 度	区 域
毎日実施	(管 理 棟) 会議室、研修室、事務室、トイレ、廊下ホール、更衣室、 (ライフル棟) 玄関、トイレ (そ の 他) 屋外トイレ、ごみ収集
週 2 回	(ライフル棟) 審査室、ビームライフル会場、エアーライフル会場、 スモールボア会場、通路、
週 1 回	(管 理 棟) 銃器保管庫、倉庫 (そ の 他) クレー放出機地下ピット、屋外機械室、駐車場、一般ごみ処分
月 1 回	(そ の 他) 火薬庫、クレー庫、倉庫
随 時	窓ガラス、雨水排水設備、不燃物処分

[職員等による特別清掃内容]

9月は、職員等による特別清掃はありませんでした。

4 安全管理

(1)保安警備業務と体制

開場時間帯は職員による警備、閉場時間帯は株式会社キューネットによる警備を行い、24時間体制で利用者の安全確保と防犯・防火・防災に努めています。

[不審者や夜間不法侵入者等の緊急対応]

9月は、不審者や夜間不法侵入者等の緊急出勤はありませんでした。

区 分		業務内容	実施予定時期
職員実施		施設・設備点検、開閉錠、不審者、不法行為の発見や排除等	AM8:30～AM9:00 日中は随時 PM5:30～PM6:00
業者実施	機械警備	感熱・赤外線により火災・盗難、不良行為の監視	毎日、無人となる 夜間から朝まで
	人的警備	不審者、不法行為の発見などの問題発生時	随時対応

5 環境保全体制

環境省が定めている「射撃場に係る鉛汚染調査・対策ガイドライン」に基づき、鉛弾等の環境保全対策を行っています。また、回収作業は、グループ全体で取り組んでいます。

業 務 名	実施日
鉛回収作業(職員により実施)	別添資料2参照
調整池 清掃・汚泥処分	別添資料3参照
水質検査	なし

IV 自主事業状況

1 KSPA・MIZUNOスポーツプログラム

教室名	時間	実施日	参加者数
ビームライフル教室	10:00～12:00	25日	0名

2 その他の事業

9月は、その他の事業はありませんでした。

V 管理運営体制

1 組織体制と人員配置

射撃場長（統括責任者）のもと1課体制により、各種事業を円滑に行っています。
利用者対応は、開場時間帯に対応した勤務体制をとり、ホスピタリティな対応を行っています。

利用案内・窓口受付	開場時間	職員配置時間	備考
管理棟受付窓口（4～9月）	9:00～18:00	8:30～18:30	施設点検・供用準備を含む
管理棟受付窓口（10～3月）	9:00～17:00	8:30～17:30	施設点検・供用準備を含む

2 職員研修

9月は、職員研修はありませんでした。

VI 緊急時対策体制

1 事故発生時の対策・対応

事故発生に備えて、全職員に“危機管理マニュアル”の徹底を図るとともに、AEDをはじめ、応急処置に必要な機器・用具を設置しています。さらに事故に対する保険に加入し、万全の補償体制をとっています。

[事故等に伴う職員の出勤]

9月は、事故等に伴う職員の出勤はありませんでした。

[常備機器・用具]

機器・用具等	配置場所
AED(自動体外式除細動器)	管理棟受付前
使い捨て担架(ディスプレイストレッチャー)	管理棟受付
救急用具:消毒薬、包帯、三角巾、添木 等	管理棟受付

2 火災、地震災害時の対策・対応

区分	内容	対応	対応日
地震	熊本地震による施設対応	危険区域の立入禁止措置	1～30日

3 気象災害時の対策・対応

区 分	内 容	対 応	対応日
台風	台風18号接近に伴う被害未然防止対策	クレー射場のネット下げ・側溝の防鉛網回収・施錠管理の徹底および飛散物発生防止点検	15～17日
台風	台風18号通過後の被害状況確認・点検等	破損個所の調査点検及び破損物、枝の撤去	17～18日

4 その他の対策

(1) その他の対策・対応

区 分	内 容	対 応	対応日
熱中症	定期的に熱中症指標計で計測し、利用者に情報提供	定期計測 熱中症予防呼び掛け	1～30日

(2) 国民保護法に定める避難施設として指定された場合の支援

災害に備えて、飲料水、非常食等を備蓄しています。

[危機管理マニュアル]

・台風、豪雨対応	・火災、地震災害対策	・微小粒子状物質(PM2.5)対策
・施設の爆破、占拠等対応	・人的災害対応	
・光化学スモッグ対応	・落雷事故対応	
・新型インフルエンザ対応行動計画	・熱中症予防対策	

5 保険加入による補償体制

[賠償保険加入状況]

保険内容	補償内容
スポーツファシリティーズ保険 (公益財団法人日本体育施設協会)	[施設所有(管理)者賠償責任保険] 対人賠償:1事故につき5億円(1名につき3億円) 対物賠償:1事故につき2億円
	[スポーツ災害補償保険] 死亡・後遺障害補償:200万円 医療補償:入院1日2,500円
行事参加者傷害保険 (Chubb損害保険株式会社) ※旧エース損害保険株式会社	死亡・後遺障害補償:200万円 医療補償:入院1日3,000円 通院1日2,000円

平成29年度 熊本県総合射撃場 利用状況

資料1-2
単位(件/人・時間/円)

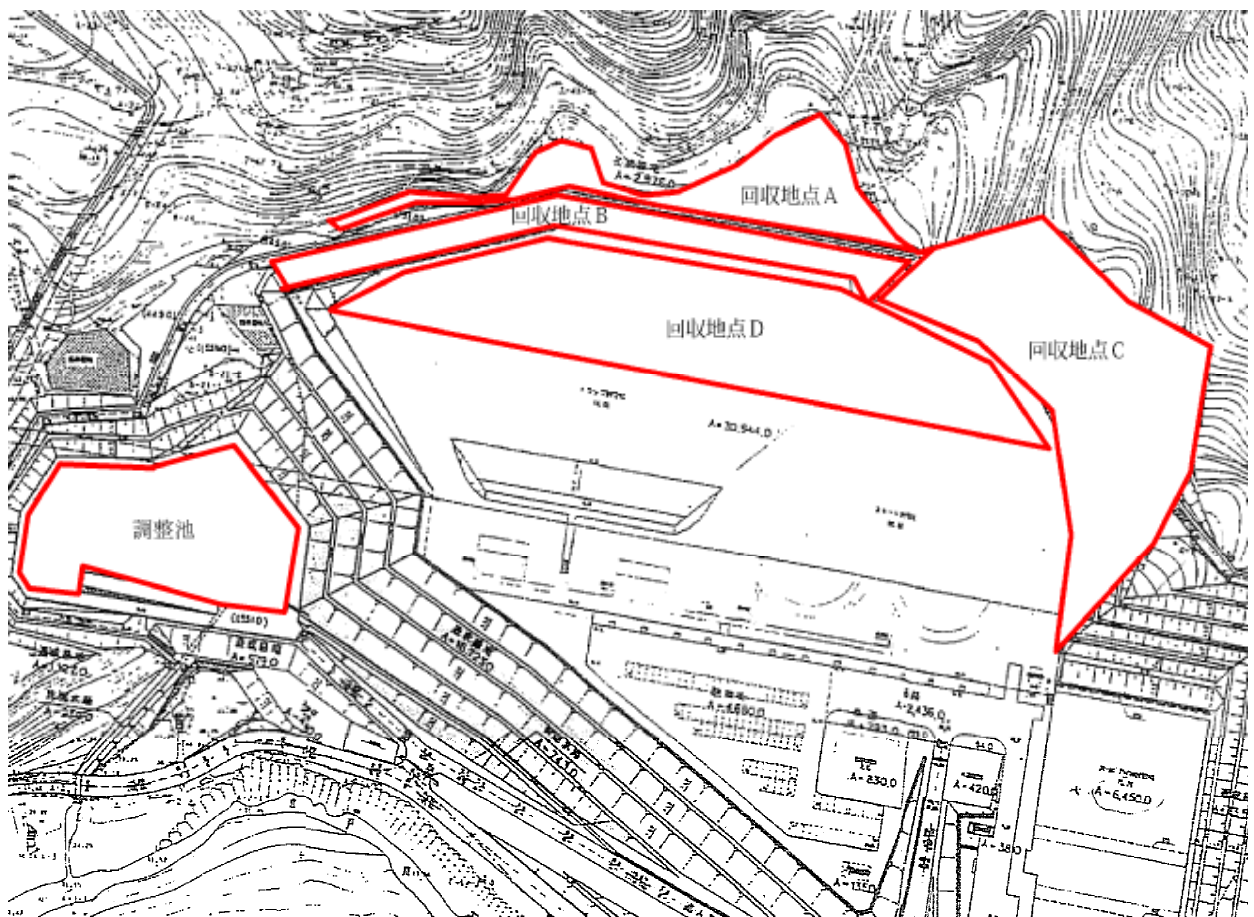
区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
クレー射撃場	一般使用	スキート	件数	58	67	40	65	68	85							383	
			人数	学生	0	0	0	0	0	0							0
				その他	69	67	40	85	68	89							418
		計	69	67	40	85	68	89							418		
		利用料	47,160	34,640	27,520	52,970	46,470	56,590								265,350	
		トラップ	件数	65	56	38	43	56	80								338
			人数	学生	0	0	0	0	0	0							0
				その他	69	56	38	43	56	90							352
		計	69	56	38	43	56	90								352	
	利用料	47,540	43,540	39,800	33,660	48,680	87,340								300,560		
	ダブルトラップ	件数	0	0	0	0	0	0	0							0	
		人数	学生	0	0	0	0	0	0							0	
			その他	0	0	0	0	0	0							0	
	計	0	0	0	0	0	0								0		
	利用料	0	0	0	0	0	0								0		
専用使用	件数	4	1	8	3	2	2								20		
	人数	学生	0	0	0	0	0	0							0		
		その他	122	24	171	71	48	64							500		
	計	122	24	171	71	48	64							500			
利用料	184,680	41,040	184,680	143,640	82,080	41,040								677,160			
クレー射撃場計 ②	件数	127	124	86	111	126	167								741		
	人数	学生	0	0	0	0	0	0							0		
		その他	260	147	249	199	172	243							1,270		
	計	260	147	249	199	172	243							1,270			
利用料	279,380	119,220	252,000	230,270	177,230	184,970								1,243,070			
附属設備	クレー放出機	枚数	29,152	16,841	26,129	21,423	19,434	24,277							137,256		
		利用料	1,166,080	673,640	1,045,160	856,920	777,360	971,080							5,490,240		
	光線銃装置	件数	0	13	10	300	171	260							754		
		利用料	0	3,240	4,080	18,000	10,560	15,600							51,480		
	会議室	件数	0	0	0	0	0	0							0		
		利用料	0	0	0	0	0	0							0		
	研修室	件数	5	1	4	4	2	13							29		
		人数	161	29	191	111	57	97							646		
		利用料	3,250	650	2,600	1,950	1,300	7,800							17,550		
	附属設備計 ③	件数	5	14	14	304	173	273							783		
人数		161	29	191	111	57	97							646			
利用料		1,169,330	677,530	1,051,840	876,870	789,220	994,480							5,559,270			
施設合計(①+②+③)	件数	132	172	130	555	426	589								2,004		
	人数	421	220	504	670	438	851								3,104		
	利用料	1,448,710	820,350	1,329,020	1,219,370	1,025,150	1,246,710								7,089,310		

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
観覧者数		161	29	191	111	57	97							646

実施日	鉛回収量	泥回収量 (側溝)	回収地点				調整池汚泥 回収量	備 考
			A	B	C	D		
12日	100kg		○	○	○	○		
19日	395kg		○	○	○	○		
合 計	495kg	0kg	2	2	2	2	0kg	
累 計	3,086kg	0kg	11	11	11	11	0kg	汚泥60kg、枯葉20kg

装弾発射量	クレー使用枚数	鉛弾量(1発)	推定鉛量	累計鉛量	備 考
	24,277枚	0.024kg	約582.6kg	約3,294.1kg	

鉛等回収地点図



鉛及び調整池汚泥等の回収作業実績一覧表

実施日	曜日	作業人数	作業箇所	回収量	側溝土砂量 (鉛含む)	調整池 汚泥回収	調整池 枯葉等除去	備考
14日	金	3人	クレー射撃場	40kg				射撃場職員での作業
25日	火	9人	クレー射撃場	451kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
4月回収量合計(12人)				491kg	0kg	0kg	0回	29,152枚×0.024kg=699kg
9日	火	13人	クレー射撃場	408kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
23日	火	13人	クレー射撃場	170kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
5月回収量合計(26人)				578kg	0kg	0kg	0回	16,841枚×0.024kg=404kg
6日	火	12人	クレー射撃場	340kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
20日	火	13人	クレー射撃場	315kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
6月回収量合計(25人)				655kg	0kg	0kg	0回	26,129枚×0.024kg=627kg
11日	火	11人	クレー射撃場	263kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
25日	火	11人	クレー射撃場	245kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
7月回収量合計(22人)				508kg	0kg	0kg	0回	21,423枚×0.024kg=514kg
8日	火	12人	クレー射撃場	125kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
22日	火	12人	クレー射撃場	234kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
8月回収量合計(24人)				359kg	0kg	0kg	0回	19,434枚×0.024kg=466kg
12日	火	5人	クレー射撃場	100kg				射撃場職員での作業
19日	火	10人	クレー射撃場	395kg				射撃場以外の施設から、職員と管理機械を動員
9月回収量合計(15人)				495kg	0kg	0kg	0回	24277枚×0.024kg=582kg
合計(延人数 124名)				3,086kg	0kg	0kg	0回	137,256枚×0.024kg=3,294kg(9月)

回収量／鉛散乱量 = 3,086kg／3,294kg = 93%(鉛回収率)

* 調整池汚泥回収量は、乾燥前の目視量である。 * 側溝土砂には、若干の鉛を含む。